

# 「報酬1万円」のアフィリエイト ～成功させたライティング6法則～

このPDFは、私がアフィリエイト記事を書く際に、  
「自分用」でまとめていたライティングノウハウをコンテンツにしたものです。

実際に私が「報酬1万円」のアフィリエイト案件を、  
ブログで販売していた時の実績を元にご紹介します。

私はTwitterでライティングについて発信していますが、  
そもそも「副業をしよう」と決意してまず始めたのがアフィリエイトブログでした。

WordPress開設後、1記事目を書き始めたくらいで既に1週間経過。

いきなり独学に限界を感じ、ブログ学習のコミュニティへ『20万円』で参加。

もちろんすぐに成果が出たわけではありませんが、  
そこから着実にライティングスキルを身につけます。

その結果、、、

「報酬1万円」のプログラミングスクールお試し体験会が成約するようになったんです。

今回は、私がこれまでやってきたアフィリエイト記事から、  
特に効果のあったライティングをご紹介します。

これからBrainやnoteを書く方は“無料エリア”ですぐに実践できる、  
「**6つの成功事例**」で解説するので、ぜひお役立てください。

## 目次)アフィリエイトを成功させた記事の構成

1. 冒頭から「おすすめ！」と結論を書く
2. 「ベネフィット」を前面に押し出す
3. 「見出し」も結論を書く
4. 「機能的」な説明は最低限
5. 「デメリットにならないデメリット」を書く
6. 「まとめ」で繰り返しオススメする

では、これからひとつずつ解説します。

# 1.冒頭から「おすすめ！」と結論を書く

こちらはライティングの基本とも言われる「**PREP法**」です。

PREP(プレップ)法とは、

Point(結論)

Reason(結論に至った理由)

Example(理由に説得力を持たせる事例やデータ)

Point(最後にもう一度結論)

の4ステップで構成されるライティングモデルを言います。

このPREP法を用いて、私がアフィリエイトを成功させたのが「とあるプログラミングスクール」に関する記事です。

このアフィリエイトの成約条件は「無料体験」への参加でした。(報酬は1件10,000円)

当時このプログラミングスクールは学生無料、社会人でもスクール経由で就職すれば受講料キャッシュバックと言うかなりお得なスクールだったので成約しやすかったです。

そもそも、受講料は20,000円と破格だったので、記事の冒頭から、「おすすめのプログラミングスクールです！」と強く主張したのが効果的でした。

Brainや有料noteでも、ダラダラと無料エリアを書くのではなく、どんな人が、どんなことを学べて、どんなベネフィットを提供できるのか？

これを「結論」として伝えてみてください。

## 2.「ベネフィット」を前面に押し出す

このプログラミングスクールに入会すると、

「何が受講できるか？」よりも、  
「受講したらどんな未来が待ってるか？」をとにかく書き出しました。

すなわち、「**ベネフィット**」のことです。

例えば「Javaが学習できます！」だけではなく「Javaを習得すればWEBアプリの開発ができるようになり新しいSNSを作り出すことも可能です！」など。

あなたの売りたい商品やサービスを手に入れた人が、その後どうなるか？

ニーズを満たす将来像を、  
なるべく具体的な描写が描けるように書いてあげてください。

いくつか例を書いてみますね。

- ・ネットビジネスはPC1台あれば好きな時間、好きな場所で作業ができます！
- ・iPadがあればいつでもお孫さんの顔がキレイに見られますよ！
- ・SIXPADを使えばラクして簡単に筋トレができます！
- ・この洗顔料を使えば肌がキレイになって外出が楽しくなりますよ！

このように、商品やサービスを体験した後の「望む未来」を描きましょう。  
ただ、この時の注意点として、「遠い未来にしすぎない」ようにしてください。

例えば、

- A)この洗顔料を使えば肌がキレイになって外出が楽しくなりますよ！
- B)この洗顔料を使えば異性にモテますよ！

この例文の場合、本来は「この洗顔料を使えば肌がキレイになって外出が楽しくなり、異性にも好印象を与えられてモテようになりますよ！」です。

しかし、「モテる」というのは先の未来すぎてユーザーがイメージできません。

なので、必ず“手の届く範囲の理想の未来”を見せてあげてくださいね。

### 3.「見出し」も結論を書く

まさに、今お読みいただいているこの構成のことです。

このコンテンツなら「アフィリエイトを成功させた記事の構成」という、見出しの後に箇条書きで結論を書きました。

こちらの目次のことです。

---

- 1.冒頭から「おすすめ！」と結論を書く
  - 2.「ベネフィット」を前面に押し出す
  - 3.「見出し」も結論を書く
  - 4.「機能的」な説明は最低限
  - 5.「デメリットにならないデメリット」を書く
  - 6.「まとめ」で繰り返しオススメする
- 

そしてひとつずつ解説しています。

ユーザーによっては、全てが知りたいわけではなく、部分的に知りたいことがありますよね。

例えば、このコンテンツの最初に解説した「PREP法」について、既に知っているユーザーは飛ばして読んでいきたいはずです。

「見出し」や「目次」に結論を書くことで、このようにユーザーインターフェース(使い勝手)の良さに繋がります。

読者が記事から離脱しにくくなるので、徹底してみてください。

コンテンツとして身近な「Brain」や「note」も、売れているコンテンツは、見出しをしっかり活用しているものが多いですよ。

## 4.「機能的」な説明は最低限

こちらは多くの方がミスを犯してしまう内容です。

なるべく商品やサービスの「機能的な説明」はシンプルにしてください。

私の場合、「オススメであること」と「ベネフィット」を目立たせるために、プログラミングスクールの費用、受講期間、受講方法、申し込み方法などの詳しい解説はせずシンプルに表記しました。

例えば、

- 受講費用20,000円
- 受講期間3ヶ月
- 受講方法は完全オンライン
- 申し込み方法はWEBで簡単5分

のようにサクッと書いてしまいましょう。

仮にこれが次のように表記されていたらどうですか？

“このプログラミングスクールの受講費用は20,000円です。お支払いいただいてから、3カ月の受講期間となります。受講いただく手段は完全オンラインを採用しており、事前にzoomのインストールが必要ですのでご準備ください。お申し込みは以下のフォームからたった5分で完了します。心よりお問い合わせをお待ちしております。”

これでは途中で読みたくなくなりますよね。

このように、文章(ライティング)で訴求すべきは、「ストーリー」や「レビュー」などに絞りましょう。

機能的な説明は「箇条書き」でシンプルに伝えます。

しっかり使い分けていくのが基本です。

## 5.「デメリットにならないデメリット」を書く

冒頭から「おすすめ」しているプログラミングスクールなので、売れなくなるようなデメリットを本気で書く必要はありません。

ですが、デメリットにも触れることで記事の『信頼度』が増します。

例えば、

「Java、PHP、Python以外の言語を学習したい方には向いていません。」

「ちょっとだけ難易度は高めですが手順通り学習すれば無理なく進められます。」

など、「これくらいのデメリットなら問題ないな」

と、感じてもらえるようにすると良いです。

人は都合の良い話ばかりをされても、逆に怪しむのである程度のデメリットを説明しましょう。

## 6.「まとめ」で繰り返しオススメする

まとめでは冒頭の結論とベネフィットを簡単に書きます。

- ・学生は受講料無料
- ・スクール経由の就職で受講料キャッシュバック
- ・Javaを習得して次世代のWEBアプリを作るのはあなた！

という感じで特徴をまとめると読みやすいです。

また、

「実際に評判もいいです」

「実際にトライしてみてオススメできます」

など、なぜオススメできるのか『理由・根拠』をしっかりと書くと信憑性が高くなります。

むしろ『理由・根拠』のないものに人は納得しないので、しっかり書きましょう。

そして、

「受講体験や相談は無料なのでお気軽に^^」

と最後のひと押しをするとさらに効果的です。

## まとめ

アフィリエイトを成功させた記事の構成について書いてみました。

簡単にまとめると

- 1.冒頭から「おすすめ！」と結論を書く
- 2.「ベネフィット」を前面に押し出す
- 3.「見出し」も結論を書く
- 4.「機能的」な説明は最低限
- 5.「デメリットにならないデメリット」を書く
- 6.「まとめ」で繰り返しオススメする

これらを意識して丁寧に書き上げたので興味を持って頂けました。

記事全体としては肯定的な方向に持っていき、あまり売り込み意識は持たずに第三者としてレビュー、オススメしていくという書き方が良いです。

以上、少しでも参考になれば幸いです。

また、もしよろしければ、  
サクッとまとめられた今回のコンテンツのご感想をいただけたら励みになります。

- ・固定ツイートを引用
- ・ひでのメンション([@hide\\_writing](#))を入れる

上記のようにしていただけたら、全てRTでお返しさせていただきます！  
感想は素直に嬉しいので、どうぞよろしくお願いします。

最後まで読んでいただきありがとうございました！

ひで